



つくば市立栄小学校

さかえ小 ニュースレター

No.54

R8.1.29

One for all, all for one. ～一人はみんなのために みんなは一人のために～ (児童数) 293名

学校教育目標:認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

春はもうすぐ ～令和7年度もあと2か月～

29日(木)、久しぶりに全学年がそろっての登校となりました。どの教室からも聞こえる子供たちの元気な声は、学校に活気を与えています。そんな子供たちと接していると、やはり、元気が一番だと思い返させてくれます。さて、まだまだ厳しい寒さが続いています。季節は確実に春に向かって進んでいます。6年生はいよいよ卒業式に向けたカウントダウンの時を迎え、卒業を見据えた活動がスタートします。栄小で得た多くの思い出とともに、ご家庭や地域の方々に感謝の気持ちをもちながら、中学校で力強く羽ばたこうとする姿を、全職員一丸となって応援したいと思います。また、5年生以下の下級生は、先輩の頑張りを手本に、よりよい栄小を目指して頑張る子供たちが大勢います。花と緑があふれる陽気な春は、すぐ近くまで来ています。栄小の子供たち一人一人が、夢と希望に満ちた春を手にし、その喜びをかみしめ、共に祝福し合える日のために、今年度の残された貴重な時間を有効に使ってほしいと願っています。

ピンチはチャンス！ ～5年1組、3・4年の活躍～

今週前半、高学年の多くが不在の中、各登校班や学校生活を支えてくれたのが5年1組と3・4年の子供たちです。いつもは高学年に挟まれて登校している3・4年生ですが、今回は安全棒を片手に、低学年に優しく声をかけながら、安全に登校することができました。班の先頭や一番最後を歩くその姿はとても凛々しく、そして逞しさを感じました。また、5年1組の子供たちは、各委員会ですらの役割を超えて意欲的に活動していました。ピンチをチャンスに変える子供たちの強さがうれしいです。



創り出す喜び ～5年図工～

図工室では、5年生が1枚の板材から一人一人工夫した作品を作っていました。事前の自由スケッチをもとに、電動糸のこを使って起用に板を切り取った後、その形や板の組み合わせ、バランスなどを考えながら、自由な発想で活動を進めています。誰もが同じ1枚の板材からのスタートですが、周囲を見渡すとどれ一つ同じ作品はありませんでした。創り出す喜びをたくさん味わっているようです。



ヒントは日常生活から ～3年理科～

3年生は、理科で電気の仕組みについて学習しています。電気を通すときと通さないときの乾電池と豆電球のつなぎ方や電気を通す物と通さない物があることなど、事前に予想したことを、実験を繰り返し、友達と意見を交わし合いながら確認していました。子供たちは、日常生活や遊びでの経験をもとに、予想をしたり、結果に納得したりしていました。学びは日常生活にたくさんあることを実感する姿でした。

